

## ITUAJより

### 編集後記

警備業の発祥は、1800年代半ばに米国で開始した探偵業（私警察）。ご存知でしたか？

いつの時代も、その状況に応じて様々な対応をし、進化を続けているセキュリティ。私警察の発祥から200年余りを経た今日は、IoT、ビッグデータ、AIといった技術が活用され、想像以上に広く深い範囲で私たちの生活を守っています。

絶えることなくやってくる地震や台風などの天災、他人事ではないテロや盗難事件といった人災。迅速に対応するためにどのような対策が取られているのか？ドローンやウェアラブル端末等がどの様に活用されているのか？今回の特集は「安全とICT」です。ぜひお楽しみください。

## ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら [https://www.ituaj.jp/?page\\_id=793](https://www.ituaj.jp/?page_id=793)

## 編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	白江 久純	総務省 情報通信国際戦略局
〃	稲垣 裕介	総務省 情報通信国際戦略局
〃	財津 奈央	総務省 情報通信国際戦略局
〃	網野 尚子	総務省 総合通信基盤局
〃	深堀 道子	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	岩田 秀行	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	小松 裕	ソフトバンク株式会社
〃	津田 健吾	日本放送協会
〃	石原 周	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	吉田 弘行	通信電線練材協会
〃	中兼 晴香	パナソニック株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	東 充宏	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニー株式会社
〃	江川 尚志	日本電気株式会社
〃	岩崎 哲久	株式会社東芝
〃	田中 茂	沖電気工業株式会社
〃	三宅 滋	株式会社日立製作所
〃	斧原 晃一	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	菅原 健	一般社団法人電波産業会
顧問	小菅 敏夫	電気通信大学
〃	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

## 編集委員より

### AIを不要とする標準化

日本電気株式会社

えがわ たかし  
江川 尚志



人工知能が話題となっています。毎日のように驚くべきニュースが流れます。この正月にはグーグルの囲碁ソフトの最新版が日中韓のトッププロ相手に60戦全勝したとのこと。この技術は基礎から勉強する必要があると思案していたところ、斎藤康毅著「ゼロから作るDeep Learning」という本を見つけました。数値微分の誤差を減らす方法などにも目配りしていて大変実践的です。素晴らしいぞ、これならば自分でも本当にゼロから、強烈に汚い字を書き続けて恥じない息子の字を読むのに特化した文字認識プログラムが作れそうだと、思い久々にプログラムを書き始めました。ところが、ちょっと複雑な学習になると膨大な計算パワーが必要で、GPUを100%の負荷で延々と動かし続けることになります。電気を食います。通常のパソコン用電源だとすぐに壊れるので、本格的な人工知能用のサーバーでは特に耐久性に優れた電源を二重化して使うそうです。あるブログは「仮に500Wのハードを24時間30日動かし続けるとそれだけでだいたい月8000円の電気代」「私は単身で通常5～6000円程度に収まっていた電気代ですが、低火力とはいえディーブローニングで遊びだしてからは2万円に迫る勢い」と書いています。今は冬なので良い暖房になりますが、夏は考えるだけで恐ろしい。

2014年から3年連続で地球の平均気温が最高を更新し、産業革命前比+1℃を既に超えてしまった現在、これほど電気を使って大丈夫なのでしょうか。人工知能革命とか浮かれていますでしょうか。温暖化問題とはエネルギー問題なのですが。

そうです。やっぱり標準化です。非標準の字を書くからこんなことが必要となるのであって、我が豚児が標準に準拠すれば良いのです。

……と言いつつ聞かせても豚児の字は汚いまま一向に改まりません。読めません。どうすればよいのでしょうか。

## ITUジャーナル

Vol.47 No.3 平成29年3月1日発行／毎月1回1日発行

発行人 小笠原倫明

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 森 雄三、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイティブ・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会